

菊池です。

4年間の信濃町在住期間、総合的に判断し一押しBCエリアと考えられる鍋倉山に、締めくくり山行として行って来ました。

【山城】関田山脈・鍋倉山

【日時と天気】2015年3月15日、快晴、気温は温井出発時-4℃、その後やや高温、風は弱し（山頂はやや強い）

【行程】温井 8:15—小屋からは向かって右の急斜面をジ先行ジグに沿って登高—東尾根に合流—10:40 山頂—黒倉山への稜線からエントリー—11:00—北東斜面滑走—オープン斜面—標高 900m 位から広大な台地—田茂池東西端に降りる—11:55 温井

・信濃町在住4年間の締めくくりとして12回目の鍋倉山を訪れた。新幹線開通翌日の絶好のツアー日和にハイカーも多く、駐車台数50台ほどの、今までにない賑わいであった。

・小屋からはいつもより左側の急斜面を先行トレースに沿って登高し、下りでこの急斜面を初めて滑走するつもりであった。

・春の陽光にブナ林にはテントも見られ、1000mを超えると日陰にはパウダーが温存され、ブナ林の雪花が綺麗に輝いていた。じっくり写真撮影しながらのシール登高は、比較的楽で2時間半弱で山頂に到達できた。

・黒倉山との鞍部には西ノ沢ルートで大勢がハイクアップし鍋倉山の山頂を目指していた。山頂からのダイレクトエントリーは雪崩れと雪庇の状態などが懸念されたため、鞍部に向かう稜線をかなり下り雪庇の影響がなくなった地点から北東ルートにエントリーした。ダイレクトにエントリーしたシュプールが一つあったが、雪崩を誘発した跡が見られた。

・オープン斜面は短い、上質のパウダーが温存され、雄叫び滑走が体験できた。ブナの林間に入っても徐々に重くなっていくが、まあまあパウダーツリーランが続いた。登り返して、東尾根ルートから、初体験の小屋を下る急斜面を滑走しようと考えていたが、北東ルートの快適さが続くため、また体力も考え、登り返しは諦め、パウダーランを追い続けてオープン斜面に到達した。やや急なオープン斜面はさすがに雪質が悪いが、しっかり板に乗って、大回りターンで慎重に下った。その後の広大な緩斜面のメローな台地では、滑りが悪い湿雪であるが、テールを流しながら楽にターンすることを心がけると気持ち良い低速ターンが描けた。いつも小屋に向かうが、今回は台地をそのまま下り、田茂池の西端に降り立った。（残雪量が減ると間もなくこのルートはブリッジの崩落などによりむりになるであろう）

・今までは2月までの厳冬期パウダーか4月以降のザラメ狙いのみであったが、今回のように3月中旬でも、状況によりパウダーが楽しめ、また下部のゆったりした台地滑走も楽しめるとなると、鍋倉山はBCエリアとしてはやはり一押しであると再認識させられた。

速報をHPの掲示板に掲載しました。



01 シーズン1の賑わい



02 ハイカーも多い



03 正面の急斜面を滑ってみたい



04 やどり木の芸術



05 テントも見られる陽気



06 スノーモービルも入っている



07 ブナ林の先行者



08 信越トレイルの稜線



09 山頂直下の雪花



10 春を感じる雪花



11 北信・妙高の山々



12 黒倉山との鞍部にハイクアップ



13 山頂下に雪崩れ跡



14 稜線下の上質パウダーラン



15 北東ブナ林の佇まい



16 パウダージュプール



17 若者は登り返し準備



18 快適パウダーランが続く



19 オープン斜面はしっかり板に乗って



20 メローな滑り



21 広大な台地滑走



22 新ルート・田茂池方向に進む